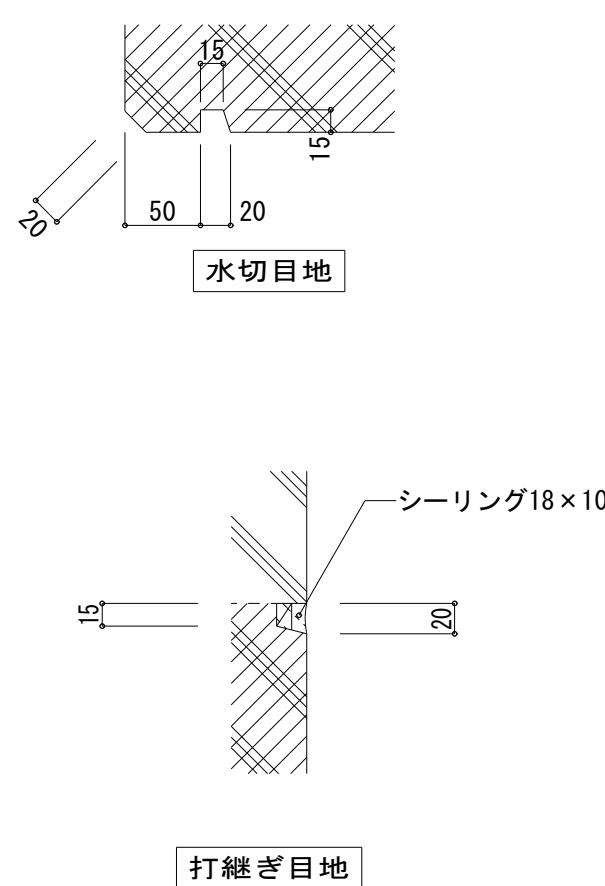
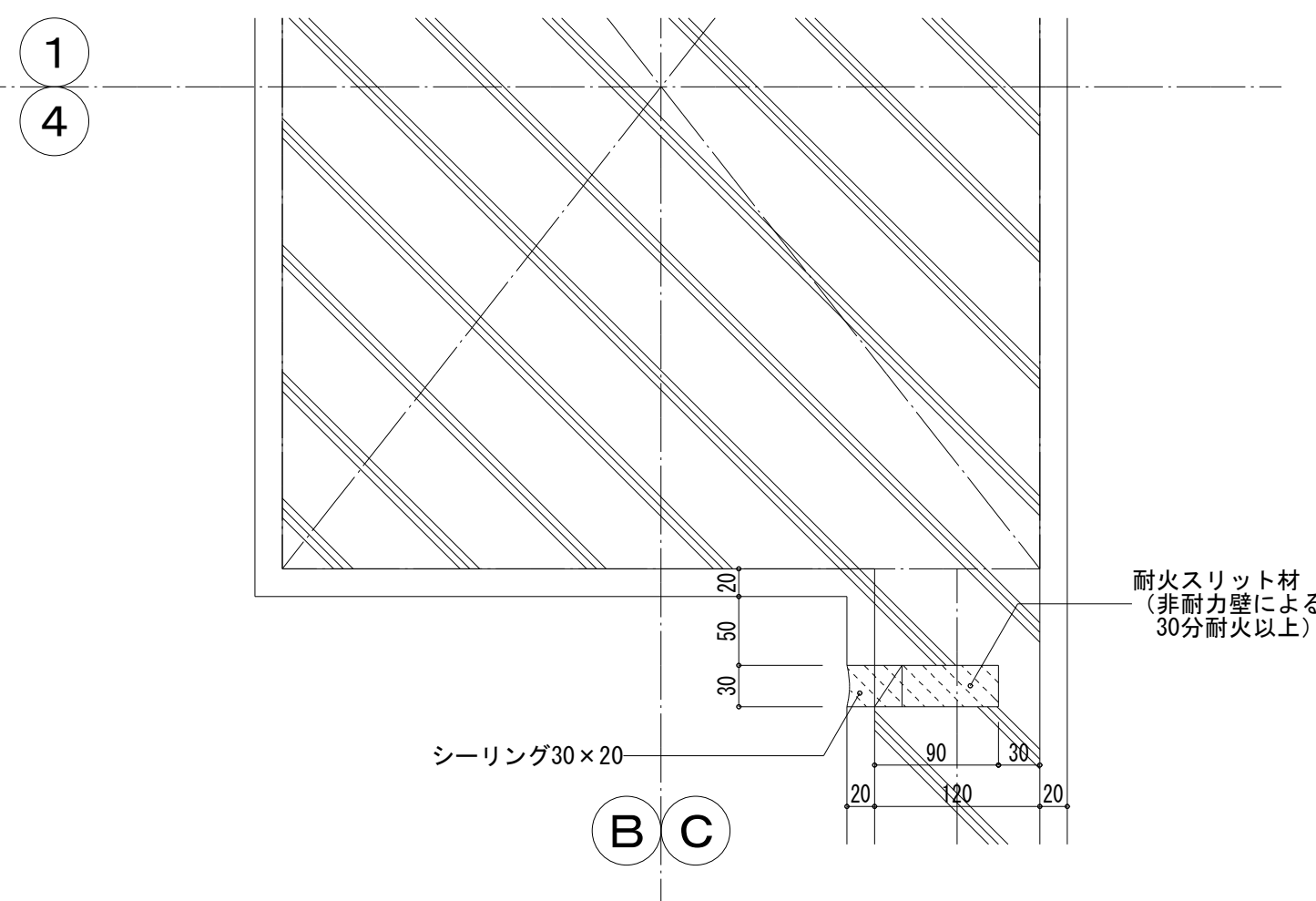
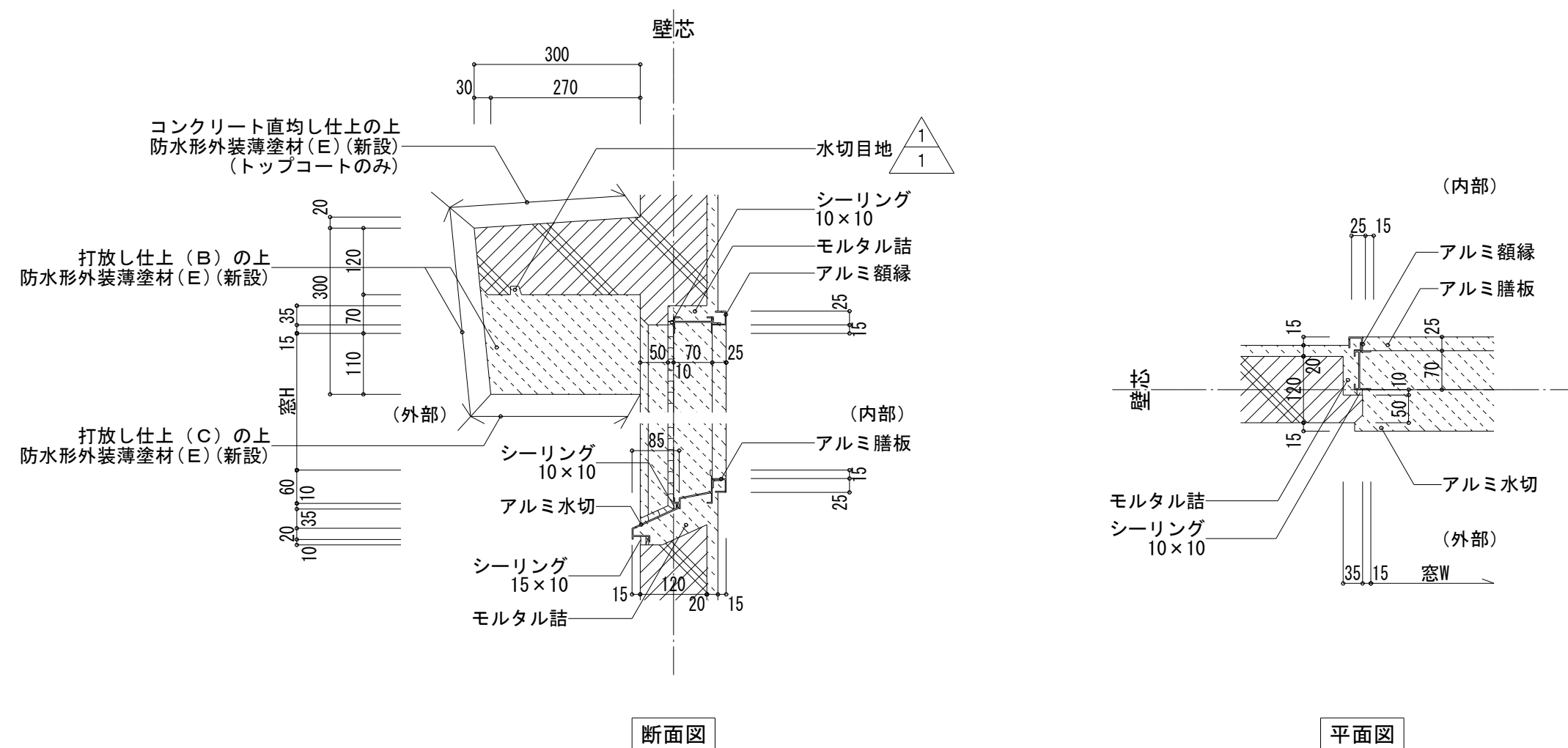



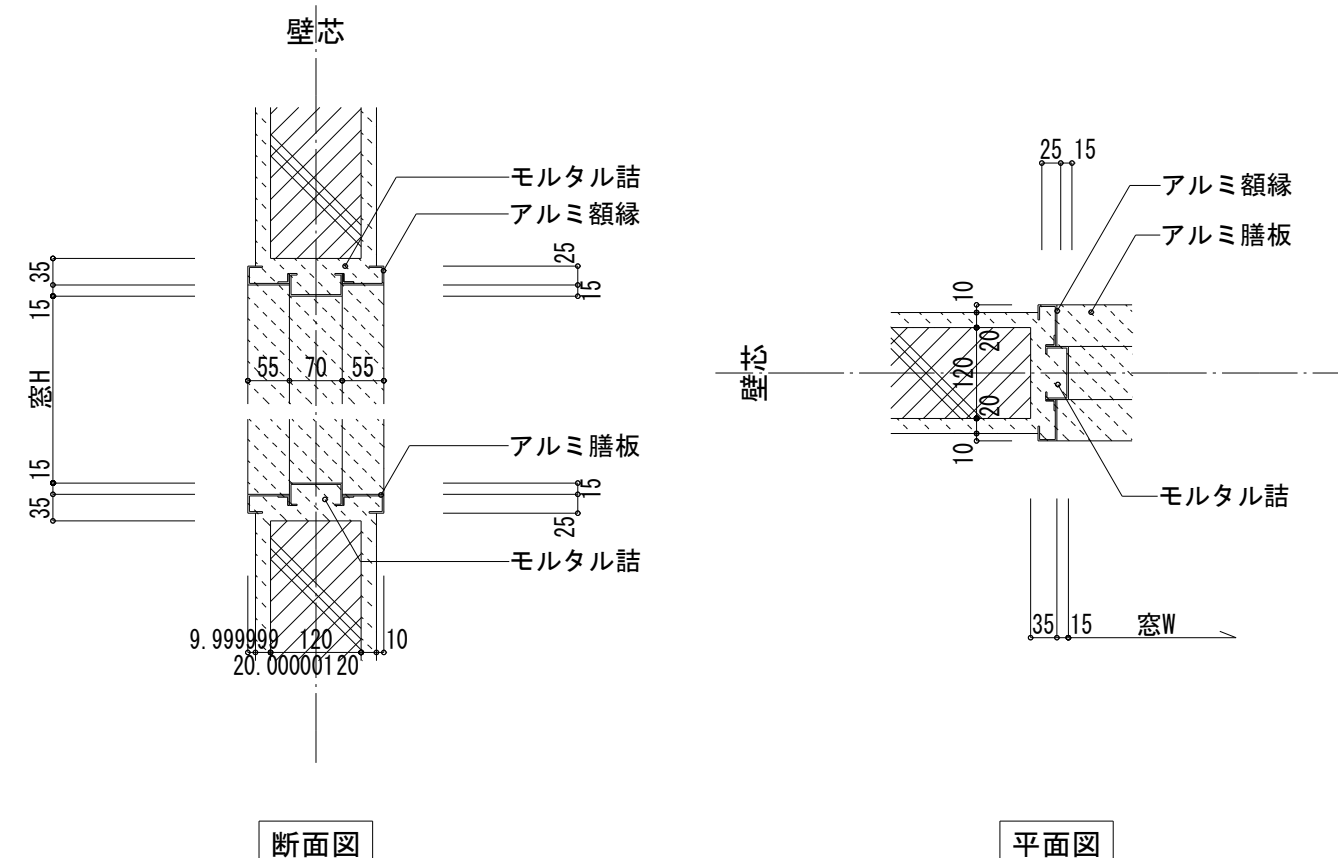


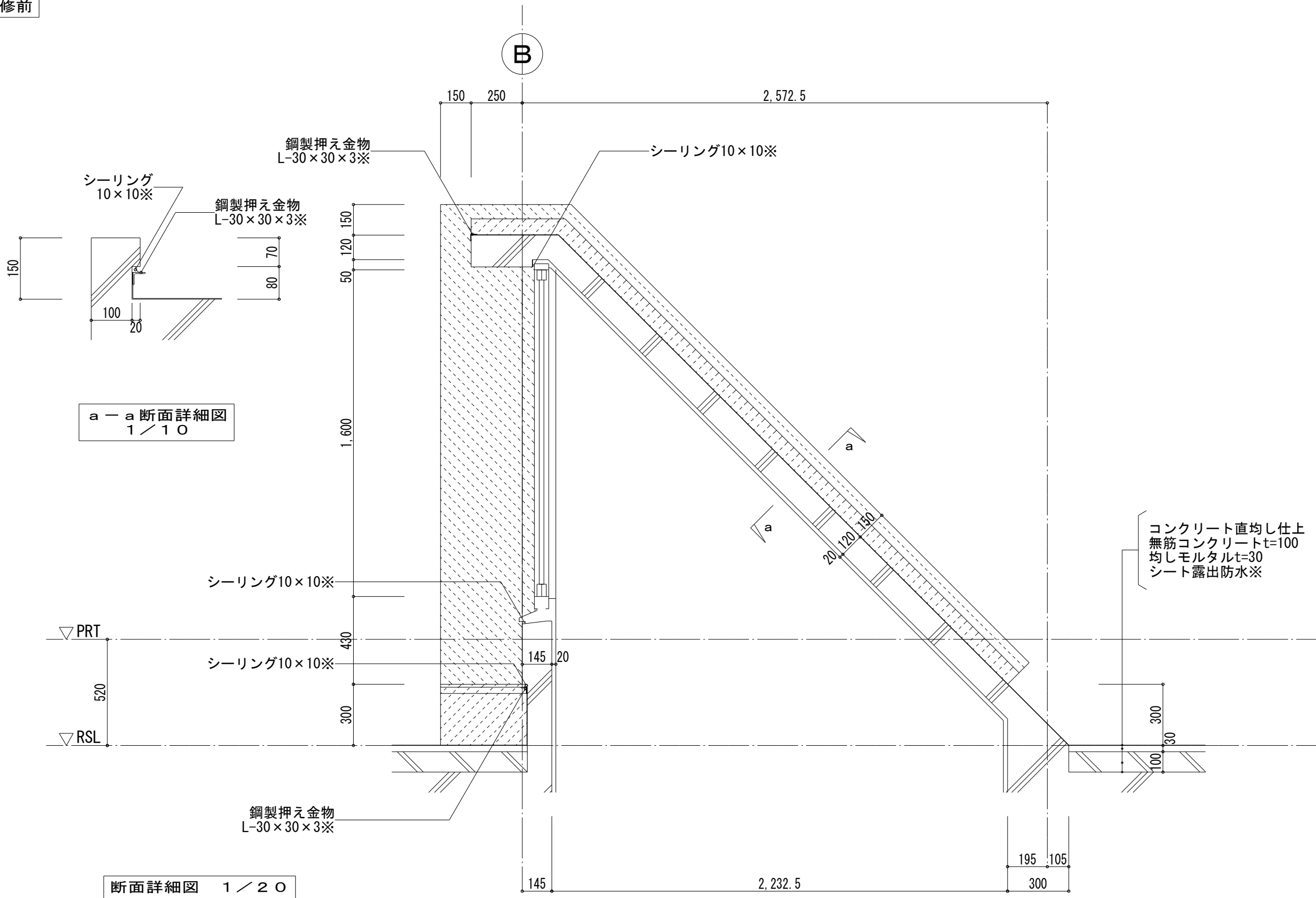


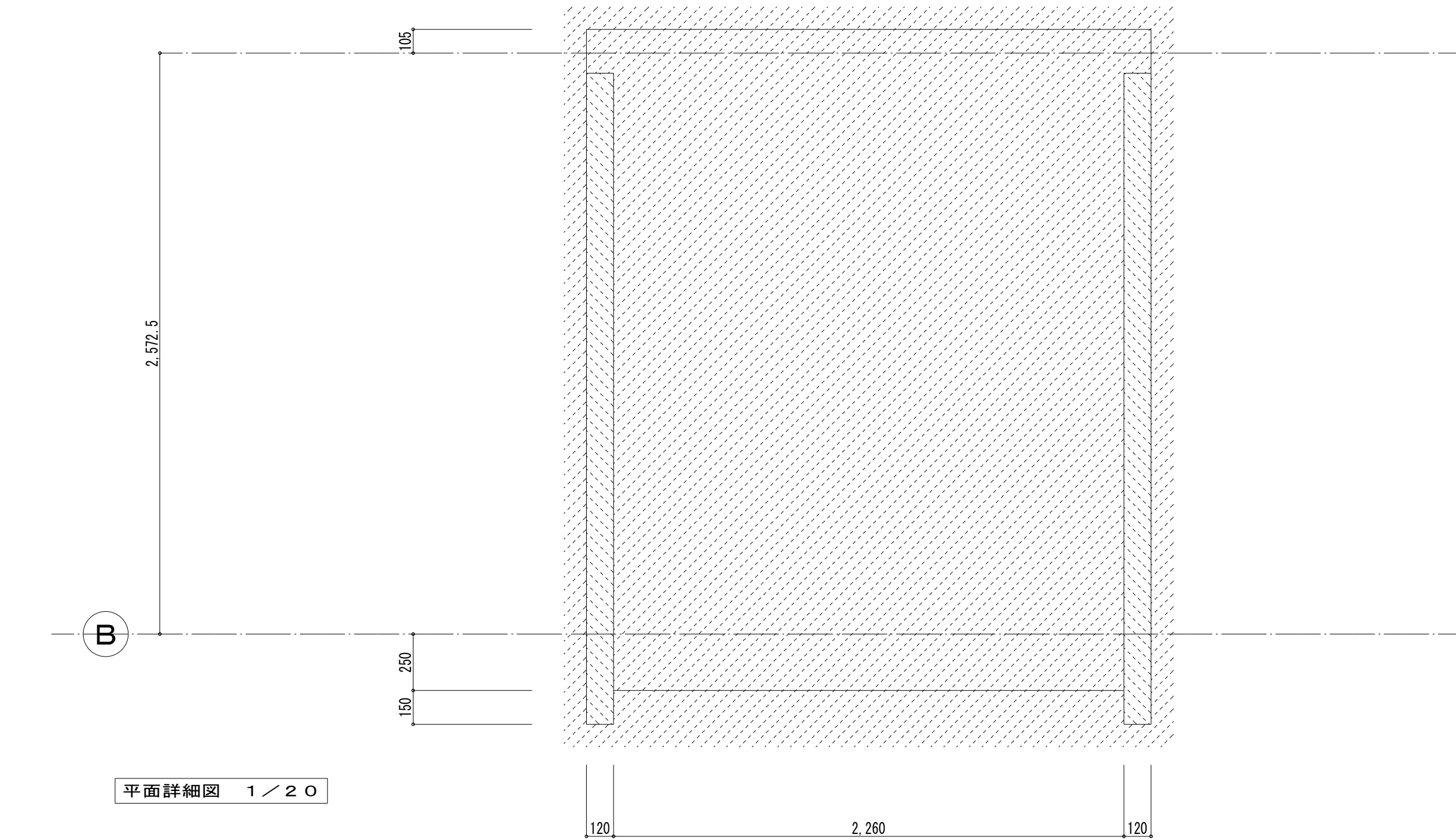
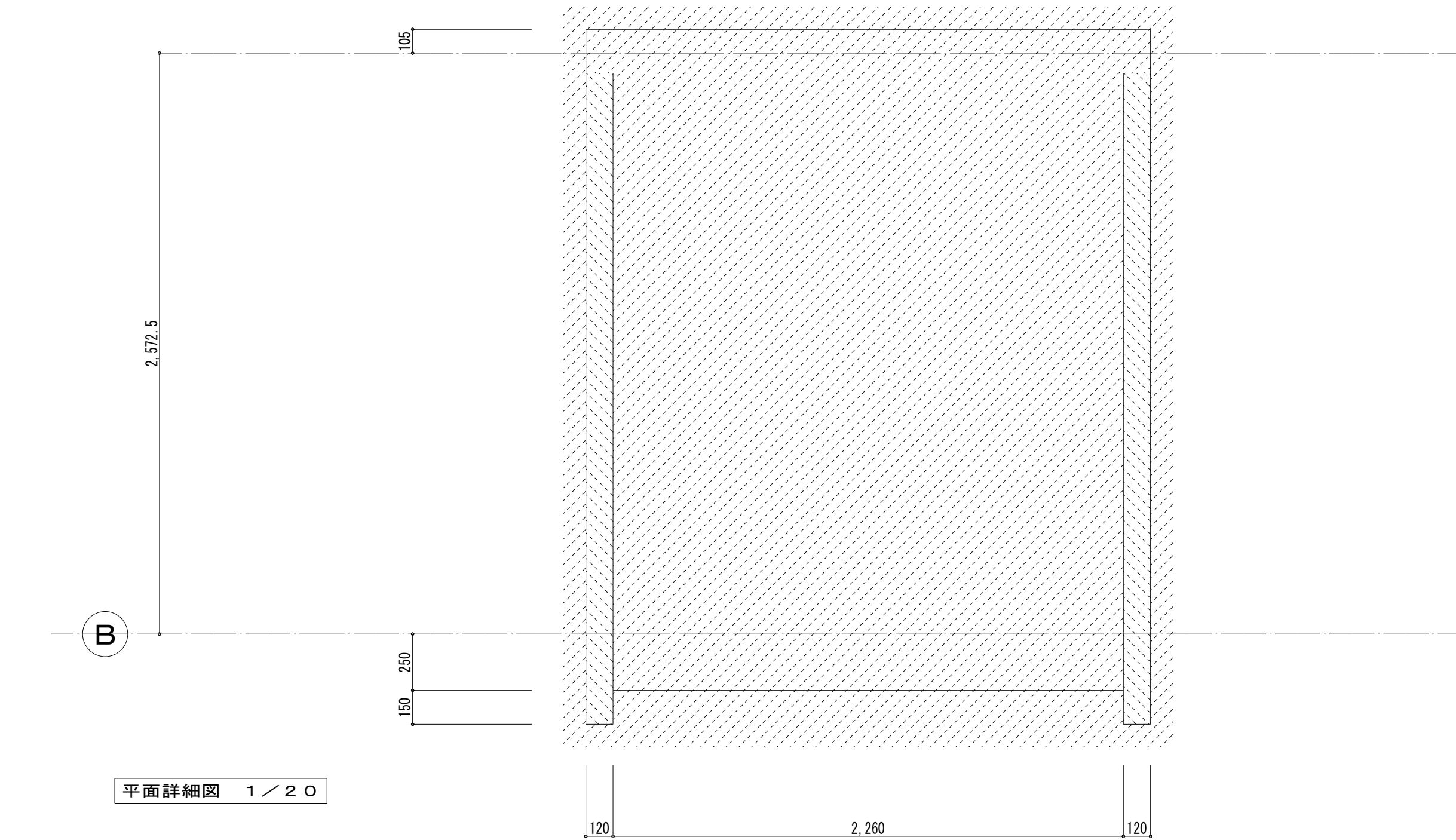
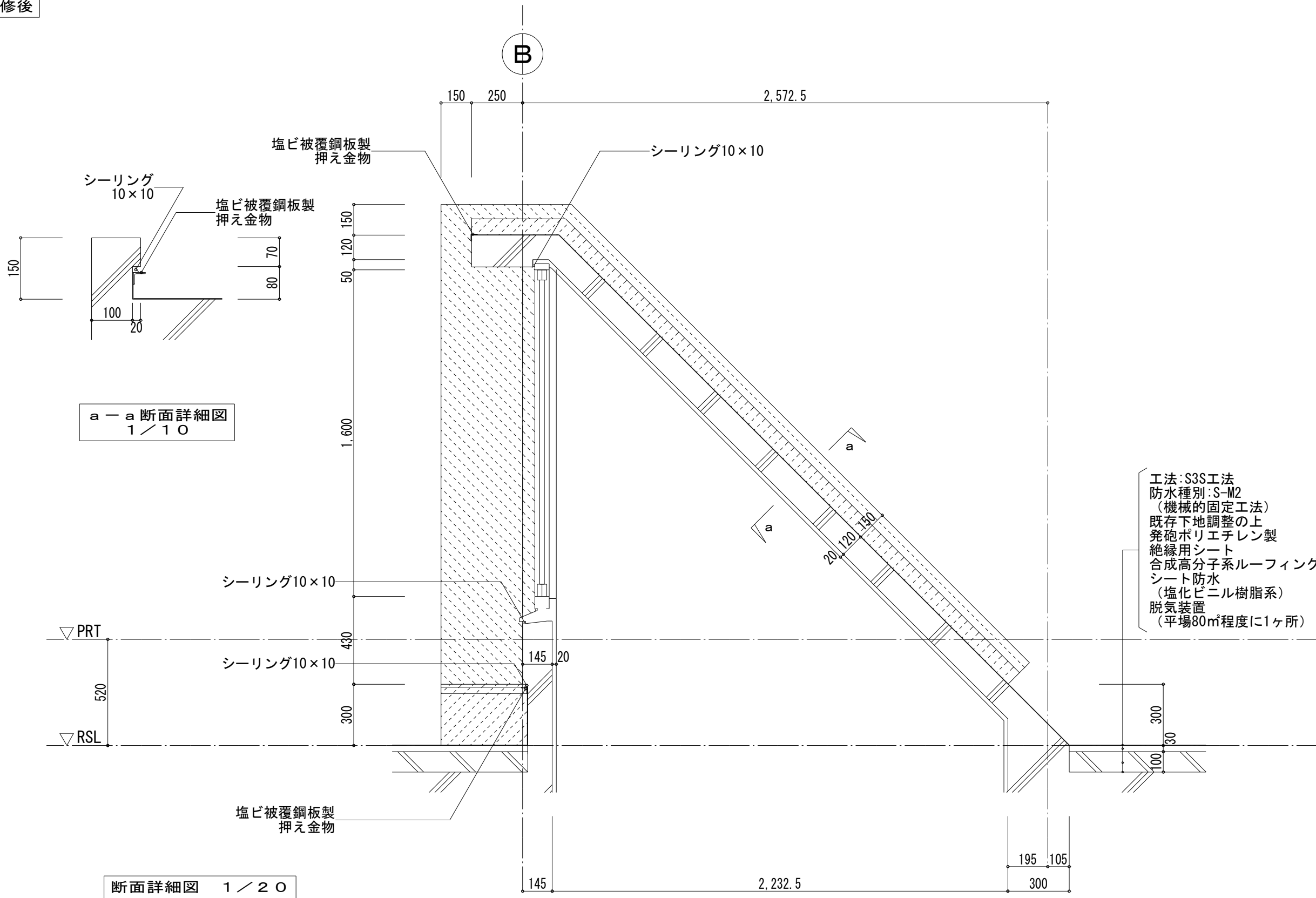
<div><div>1</div><div>1</div></div> 外壁目地詳細図		1／5	<div><div>1</div><div>2</div></div> 新設耐震スリット詳細図		1／5	<div><div>1</div><div>3</div></div> 窓廻り詳細図（1）		1／10	
<div></div>			<div><div><div>1</div><div>4</div></div></div>			<div><div></div></div>			
注 記		図中表記材は、全て新設とする。	<div></div> 躯体新設範囲を示す。	注 記		図中表記材は、全て新設とする。	<div></div> 仕上等新設範囲を示す。		
		寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。				寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	<div></div> 躯体新設範囲を示す。		
						窓W×H寸法は建具表を参照とする。			
<div><div>1</div><div>4</div></div> 窓廻り詳細図（2）			1／10						
<div><div></div></div>									
注 記		図中表記材は、全て新設とする。	<div></div> 仕上等新設範囲を示す。						
		寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	<div></div> 躯体新設範囲を示す。						
		窓W×H寸法は建具表を参照とする。							





<div><div><div>2 1</div></div><div>バラベット廻り詳細図（1）</div></div>		1／10	
<div>改修前</div>		<div>改修後</div>	
注 記		注 記	
※印は、撤去部を示す。		図中表記材は、全て新設とする。	
寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。		寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	
		下地調整：水洗い・清掃・不陸調整等	
<div><div><div>2 3</div></div><div>配管用ハト小屋廻り詳細図</div></div>		1／10	
<div>改修前</div>		<div>改修後</div>	
注 記		注 記	
※印は、撤去部を示す。		図中表記材は、全て新設とする。	
寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。		寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	
		下地調整：水洗い・清掃・不陸調整等	

改修前



改修後

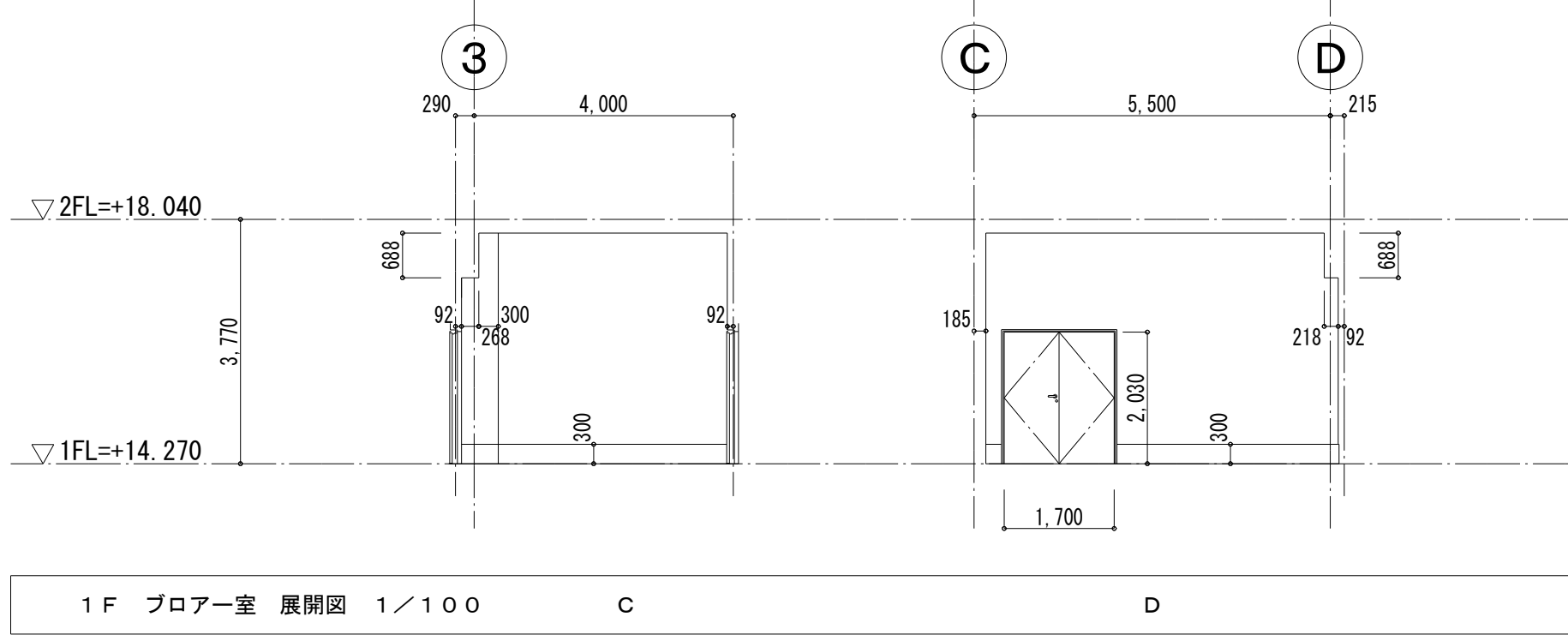
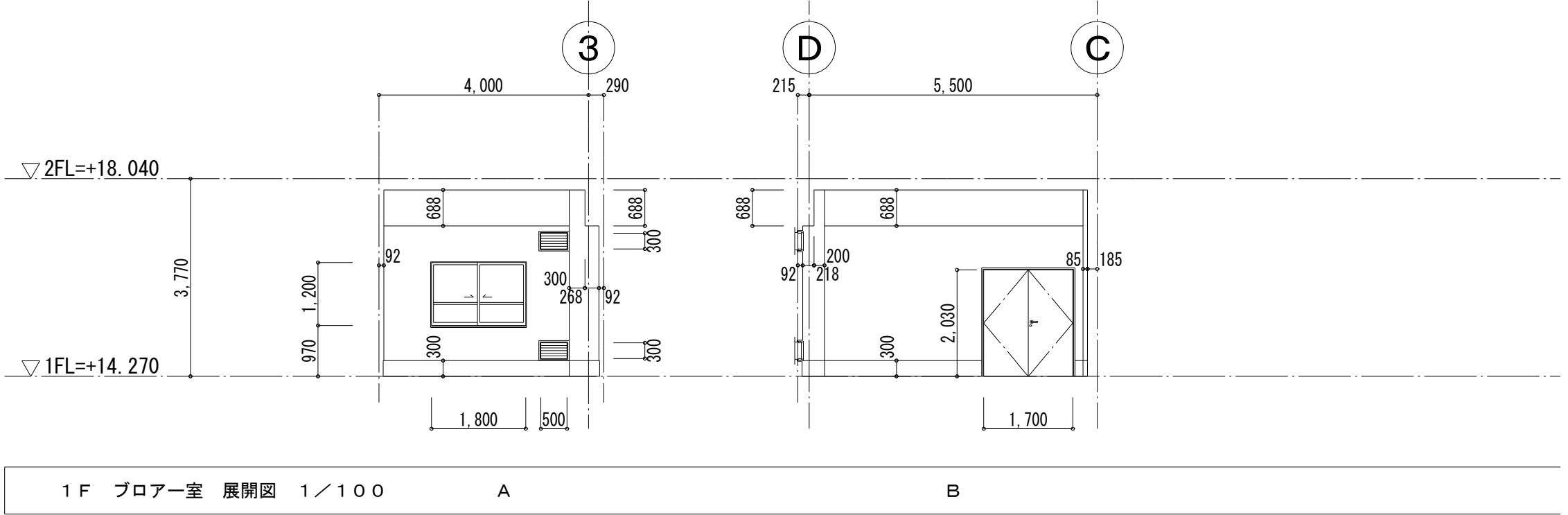
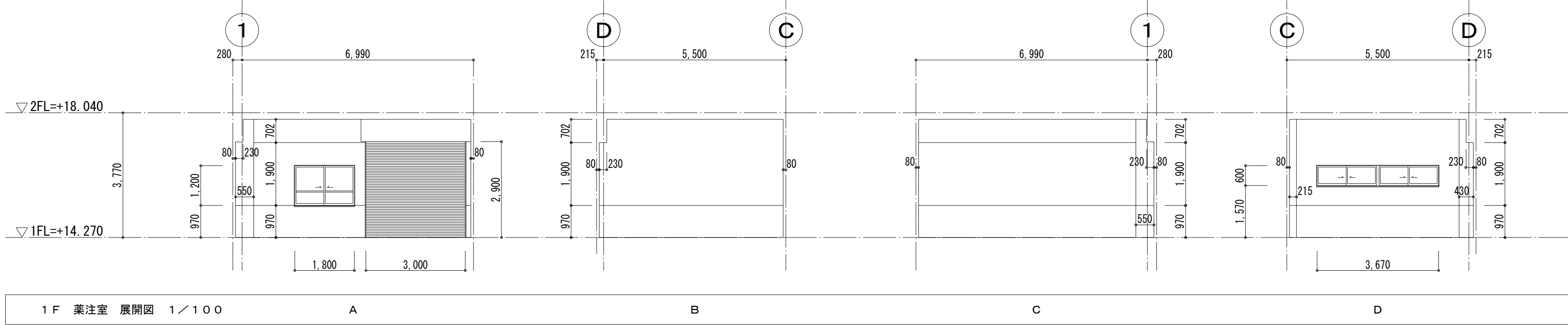
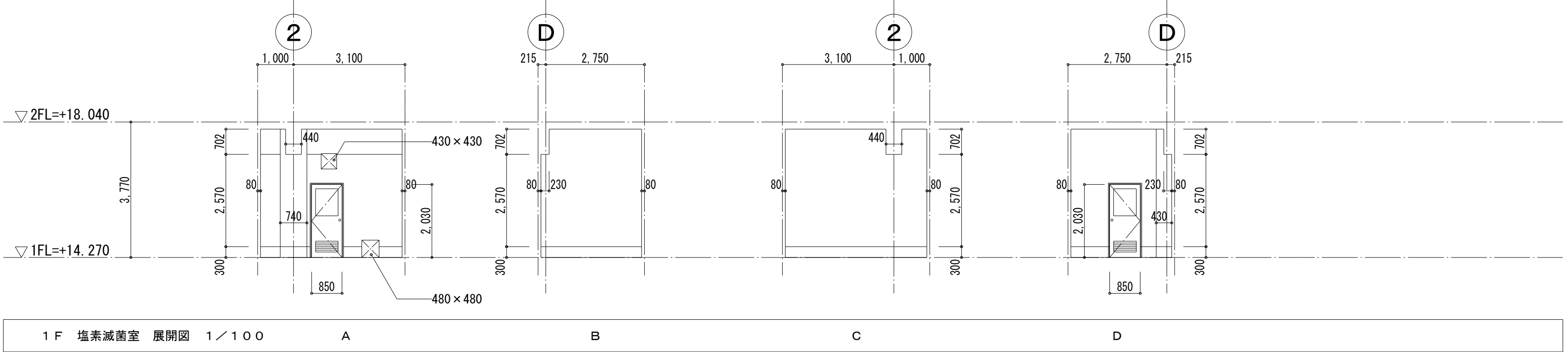
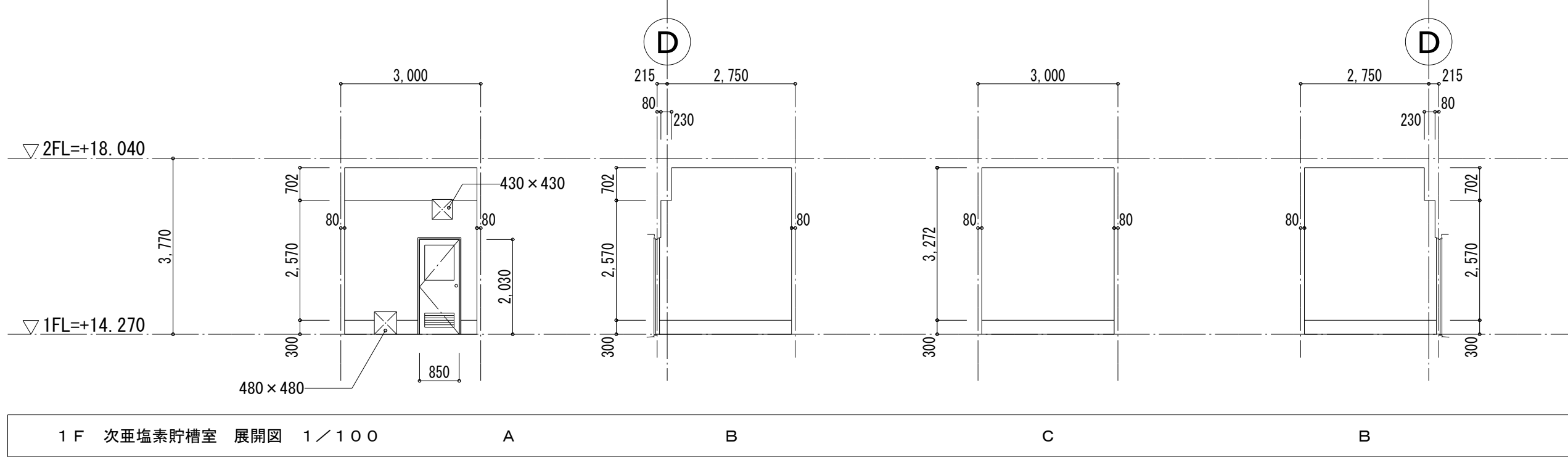
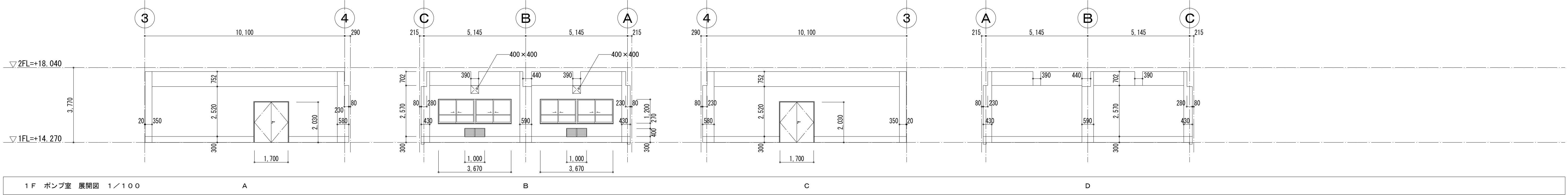
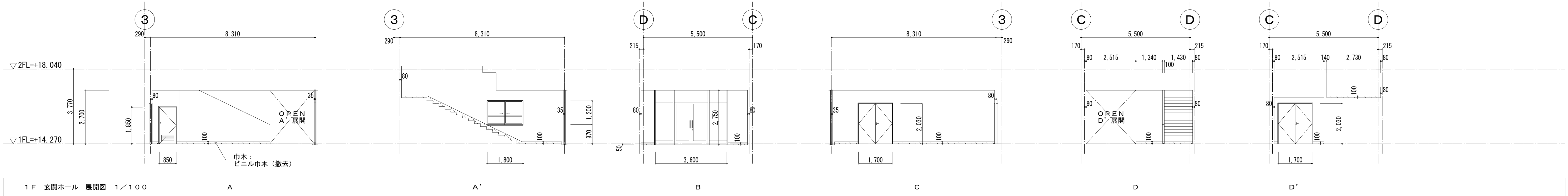


注 記	※印は、撤去部を示す。	 は屋根防水（シート露出防水）撤去部を示す。
	寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	 は外壁仕上（吹付タイル）撤去部を示す。
注 記	図中表記材は、全て新設とする。	 は屋根防水（合成高分子系ルーフィングシート防水（塩化ビニル樹脂系））新設部を示す。
	寸法等は、現場にて再度計測の上調整の事。	 は外壁仕上（防水形外装薄塗材（E））新設部を示す。
	下地調整・水洗い・清掃・不陸調整等	

実 施

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	雑詳細図（3）		
縮 尺	図示	位置	
設 計 者		設計年度	
亶 理 町	図番	A-043	

改 修 前

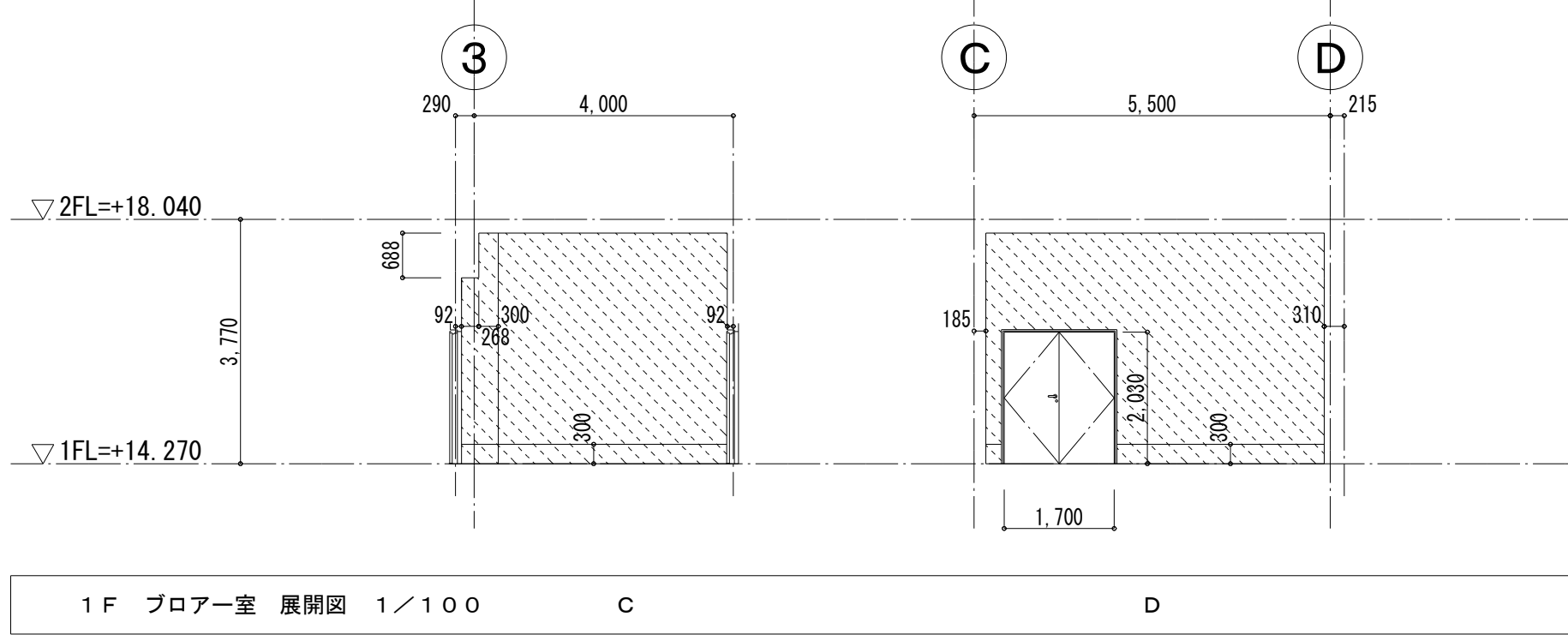
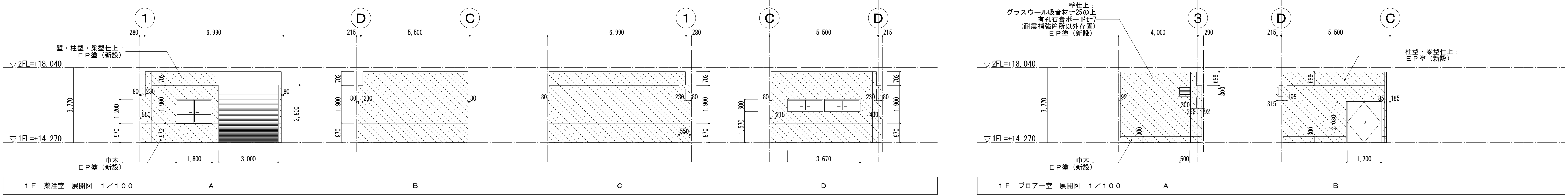
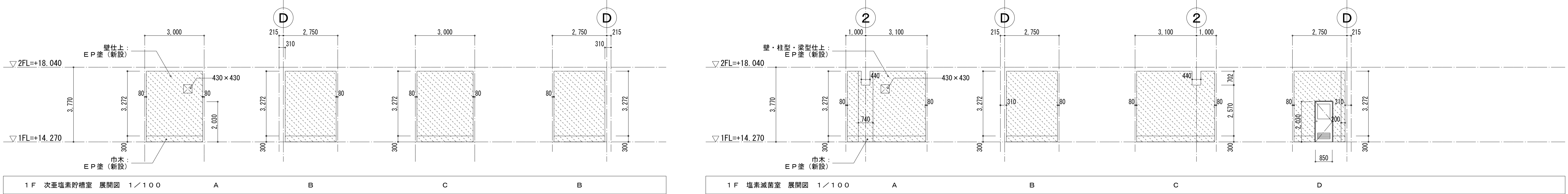
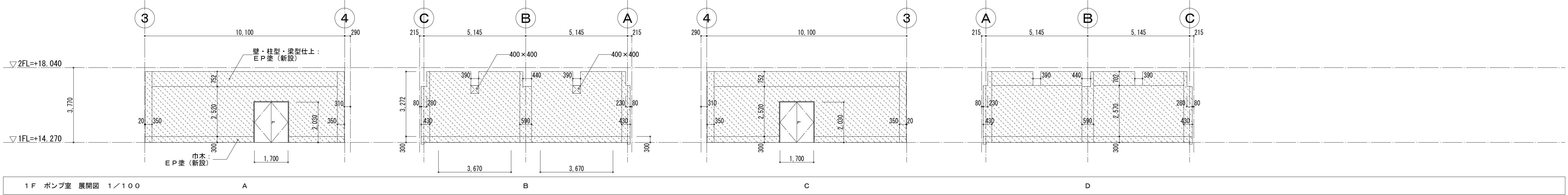
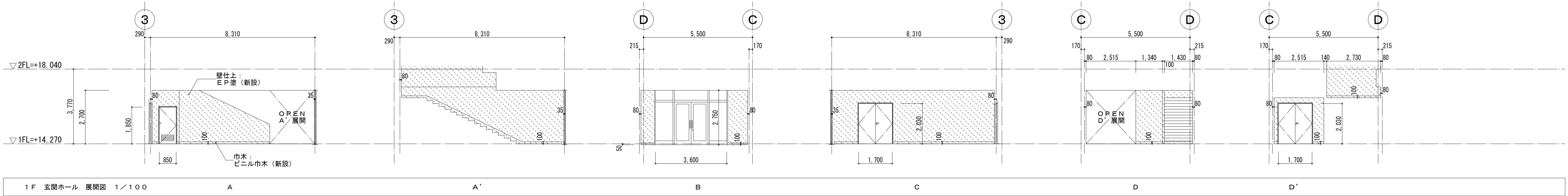


凡 実 施
仕上等撤去範囲を示す。

注 記
・耐震補強箇所に関わる躯体・建具・モルタル等の改修範囲は、
部分詳細図を参照とする。

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	展開図（1）		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町		図番	A-044

改 修 後



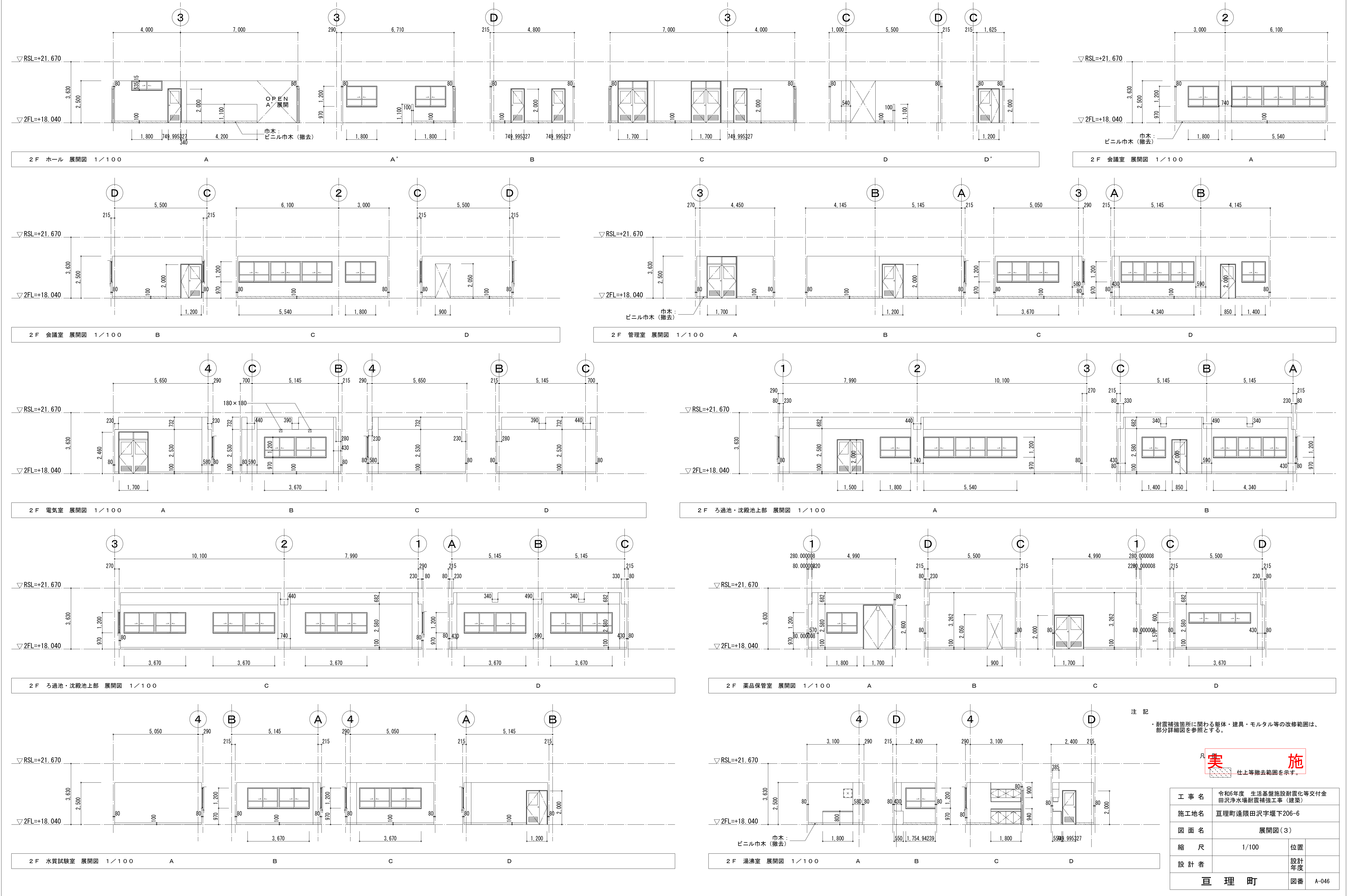
注 記

・耐震補強箇所に関わる躯体・建具・モルタル等の改修範囲は、部分詳細図を参照とする。

凡 実 施
仕上等新設範囲を示す。

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	展開図（2）		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町		図番	A-045

改 修 前

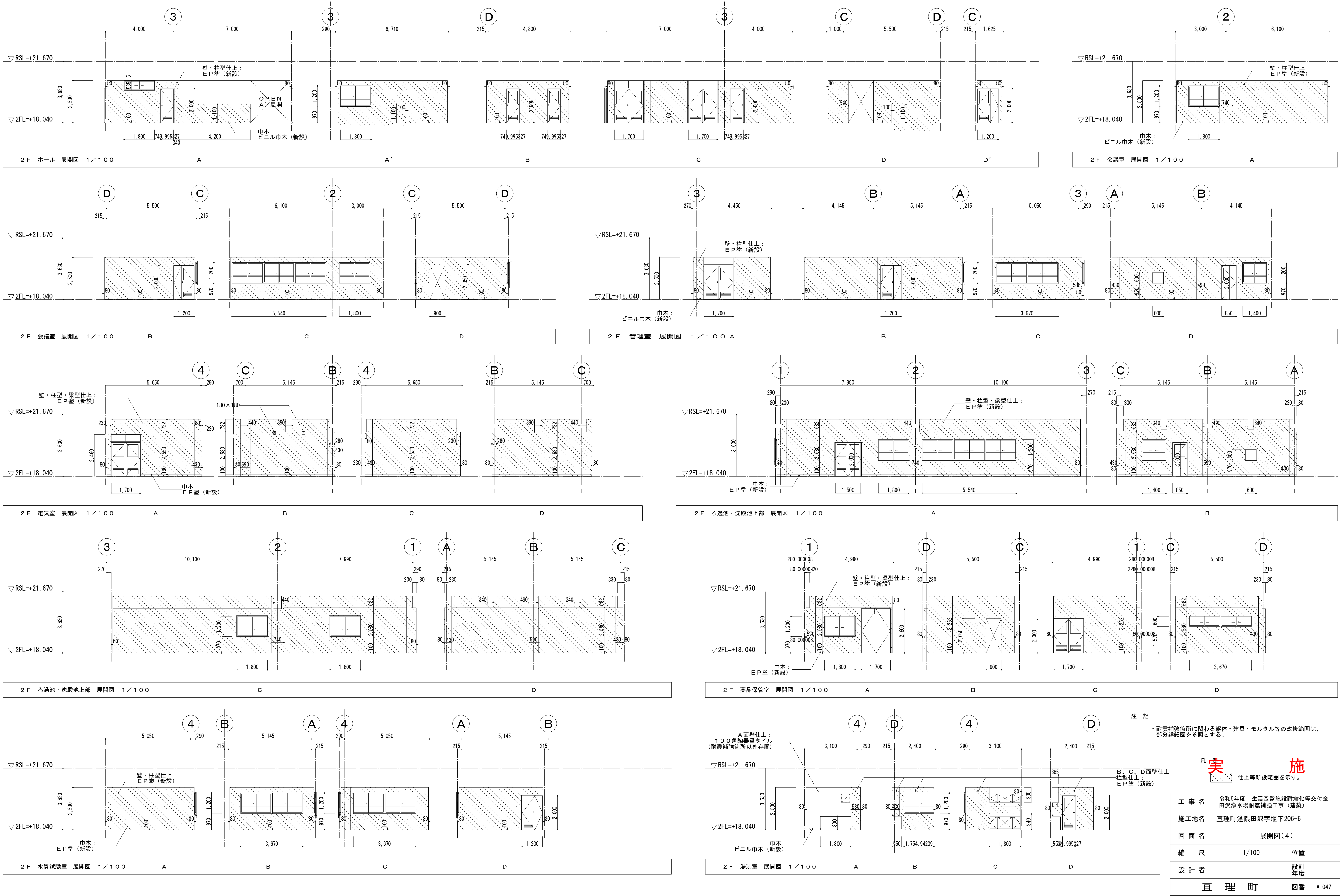


注 記
・耐震補強箇所に関わる躯体・建具・モルタル等の改修範囲は、
部分詳細図を参照とする。

凡 実 施
仕上等撤去範囲を示す。

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	展開図（3）		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町		図番	A-046

改 修 後



		改 修 前						
符号 ・ 名称 ・ 個数		S D - 1 鋼製片開きフラッシュ戸 2						
場所		1 F 塩素減菌室、次亜塩素貯槽室						
仕上 (枠共)		O P 塗						
建具	見込 (ランマ)	4 0						
	硝子 (ランマ)	線入りガラス t = 6 . 8						
	ガラリ	可動ガラリ						
建具枠	見込取合 窓摺	8 0						
枠記号 窓摺 (水切) 記号		_____						
建具金物		丁番、D C、握り玉						
その他		全て撤去						
形状・寸法								

符号	名称	個数	AW-1 アルミ製引違い窓 4	AW-2 アルミ製引違い連窓 8	AW-4 アルミ製ガラリ付き滑り出し窓 1	AW-5 アルミ製引違い連窓 1	AW-6 アルミ製引違い連窓 1	AW-9 アルミ製引違い窓 1
	場所		1 F 玄関ホール 2 F ホール、休憩室	1 F ボンプ室 2 F 電気室、ろ過池・沈殿池上部	1 F 物入	2 F 会議室	2 F 管理室	1 F プロア一室
	仕上 (枠共)		_____	_____	_____	_____	_____	_____
建具	見込 (ランマ)		_____	_____	_____	_____	_____	_____
	硝子 (ランマ)		線入りガラス t=6.8	線入りガラス t=6.8	線入りガラス t=6.8	線入りガラス t=6.8	P t=3.0	(P t=3.0) + (空気層 t=6.0) + (P t=3.0)
	ガラリ		_____	_____	_____	_____	_____	_____
建具枠	見込取合 番指		60	60	60	60	60	70
	枠記号 番指 (水切) 記号		_____	_____	_____	_____	_____	_____
	建具金物		付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 三方ラワン銀縁 25×35 ラワン扉板 25×35	付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 三方ラワン銀縁 25×35 ラワン扉板 25×35	付属金物一式	付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 三方ラワン銀縁 25×35 ラワン扉板 25×35	付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 三方ラワン銀縁 25×35 ラワン扉板 25×35	付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 三方ラワン銀縁 25×35 ラワン扉板 25×35
	その他		全て撤去	全て撤去	全て撤去	全て撤去	全て撤去	全て撤去

形状・寸法	形状・寸法	形状・寸法	形状・寸法	形状・寸法	形状・寸法

符号	名称	個数	S G - 1 鋼製ガラリ	1	S G - 3 鋼製ガラリ	2
	場所		1 F プローア室		1 F ポンプ室	
	仕上（枠共）		O P 塗		O P 塗	
建具	見込 （ランマ）		_____		_____	
	硝子 （ランマ）		_____		_____	
	ガラリ		固定ガラリ		固定ガラリ	
建具枠	見込取合 寄指		4 5		4 5	
	枠記号 寄指（水切）記号		_____		_____	
	建具金物		付属金物一式 三方鋼製縦線 2 5 × 3 5 鋼製横板 2 5 × 3 5		付属金物一式、アルミ水切板 三方鋼製縦線 2 5 × 3 5 鋼製横板 2 5 × 3 5	
	その他		全て撤去		全て撤去	

[illegible]

共

通

事

項

1.特記なき限り外部はシリング箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。
但し、押板、押棒の場合は、シリングダ本締り錠とする。

2.パイプスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリングダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部サムターン付）

3.便所等の施錠を必要としない箇所は錠錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。

4.A H、F Hを除きD Cの有無にかかわらず出入口には戸当り、および止め（防火戸を除く）をつける。
壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）

5.特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。

6.アルミニウム製の締め金物、接合口操作レバーの位置は床から1、5 0 0以内とする。

7.大型、気密鋼製建具はシリングダ本締り錠付きとする。

8.特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。

9.特記なき限り鋼製戸の見込みは4 0 mmとする。

10.防火戸の位置は建具配置図による。

11.特記なき限り気密層・簡易気密層の吸音材の充填は行わないものとする。

12.階段室の施錠を必要としない箇所は錠錠とする。

13.特記なき限り面開きの防火戸は順位調整器付とする。

14.特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。

15.A T-2、A T-4の補強材はアングル（L-5 0 ×5 0 ×6）の適し物とする。

種別

戸

窓

ガラリ

スヘッド

紙障子

ふすま

シャッター

網戸

建具略号

アルミニウム製

A D

A W

A G

A O D

A S

a W

鋼製

S D

S W

S G

S O D

S S

鋼製 軽 量

L D

L S

ステンレス製

S S D

S S W

S S G

S S S

木 製

W D

W W

W G

P

H

ガラス略号

F 型板ガラス

金

D C

ドアクローザー

P フロート板ガラス

物

A H

オートヒンジ

N F 網入型板ガラス

略号

F H

フロアヒンジ

N P 網入みがき板ガラス

号

P H

ビボットヒンジ

工 事 名

令和6年度 生活基礎施設耐震化等交付金
田沢浄水場耐震補強工事（建築）

施工地名

亶理町逢隈田沢字塚下206-6

図 面 名

建具表（1）

縮 尺

1/50

位置

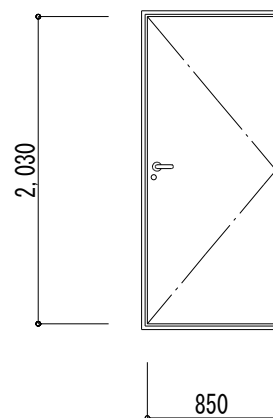
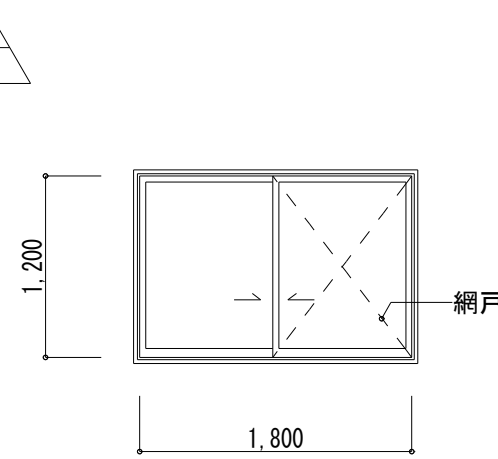
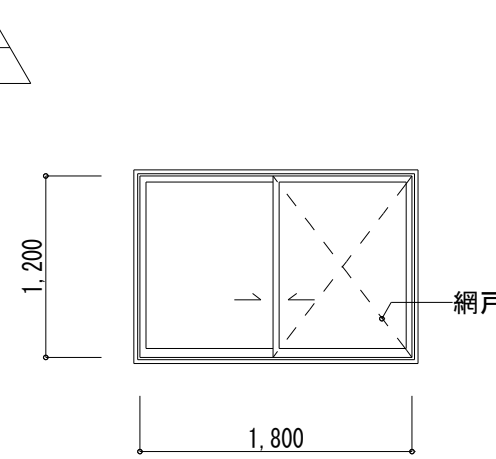
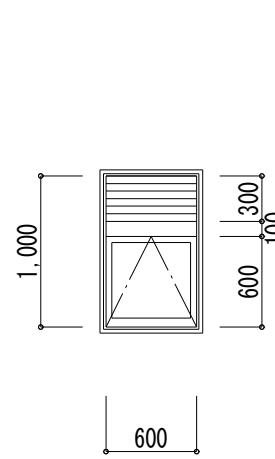
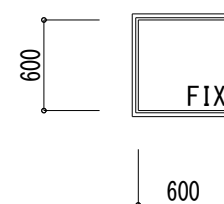
設 計 者

設計年度

亶 理 町

図番

A-048

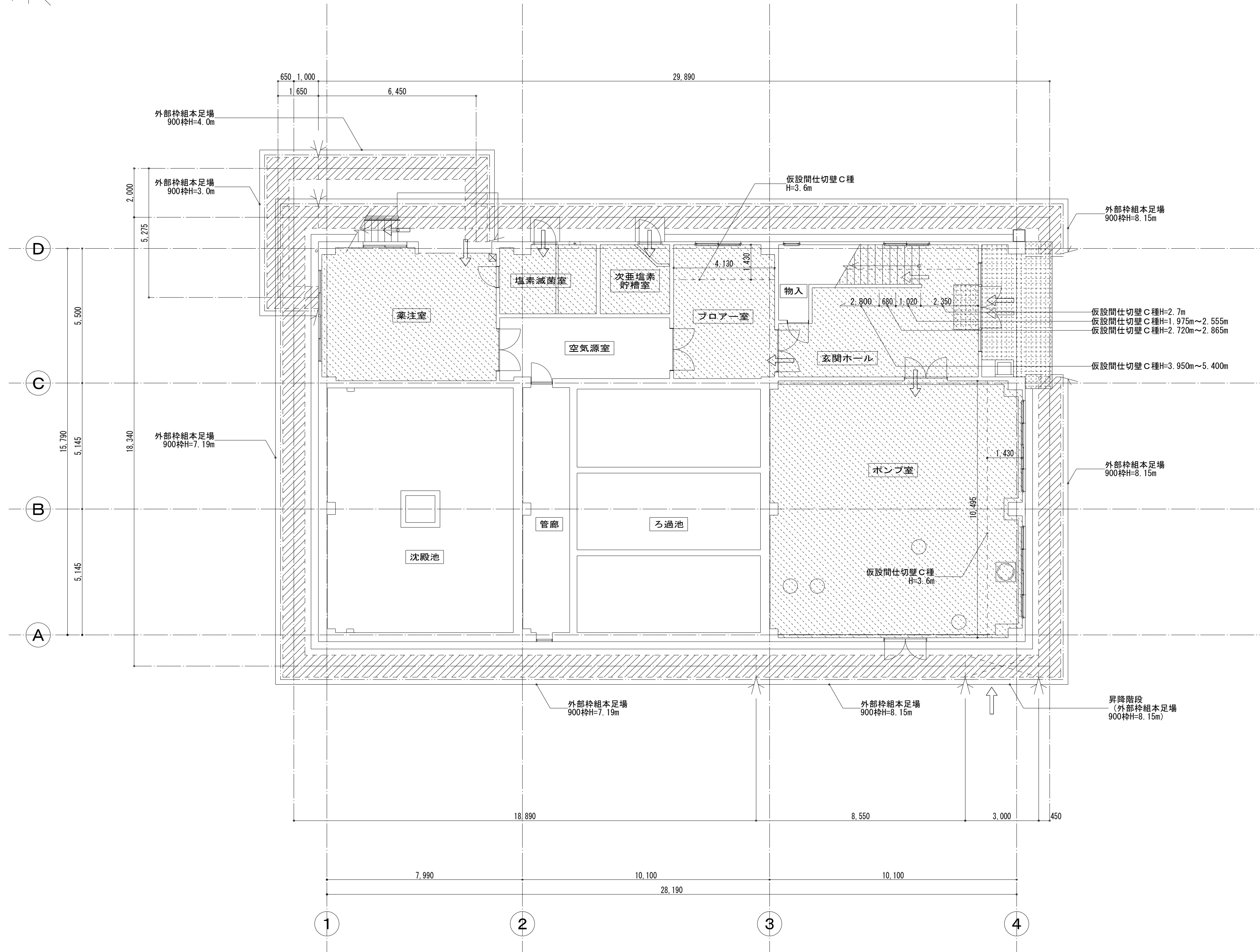
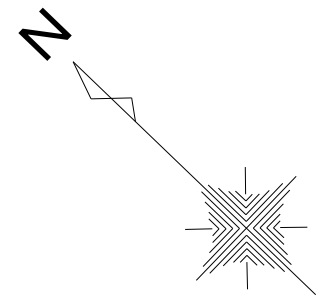
		改修後						
符号・名称・個数		SD-201 鋼製片開きフラッシュ戸 1						
場所		1F 次亜塩素貯槽室						
仕上（枠共）		DP（FUE）塗						
建具	見込（ランマ）	40						
	硝子（ランマ）	――						
	ガラリ	――						
建具枠	見込取合 番摺	120						
枠記号 番摺（水切）記号		<4-22-4> くつづり<4-31-1>						
建具金物		丁番、戸当り、DC、あおり止め シリンダー箱錠（レバーハンドル）						
その他		全て新設						
形状・寸法								
符号・名称・個数		AW-101 アルミ製引違い窓 2	AW-102 アルミ製引違い窓 2	AW-104 アルミ製ガラリ付き滑り出し窓 1	AW-106 アルミ製嵌殺し窓 1			
場所		2F ホール、休憩室	2F ろ過池・沈殿池上部	1F 物入	2F 管理室			
仕上（枠共）		BB-1種	BB-1種	BB-1種	BC-1種			
建具	見込（ランマ）	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による			
	硝子（ランマ）	NP t=6.8	NP t=6.8	NP t=6.8	P t=5.0			
	ガラリ	――	――	開口率30%	――			
建具枠	見込取合 番摺	70	70	70	70			
枠記号 番摺（水切）記号		部分詳細図による	部分詳細図による	部分詳細図による	部分詳細図による			
建具金物		付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 見込85 三方アルミ鎖縁25×25 アルミ扉板25×25	付属金物一式、クレセント、アルミ水切板 見込85 三方アルミ鎖縁25×25 アルミ扉板25×25	付属金物一式、アルミ水切板 見込85 三方アルミ鎖縁25×25 アルミ扉板25×25、ハンドル、開き調整器	付属金物一式 三方アルミ鎖縁25×55（両側） アルミ扉板25×55（両側）			
その他		網戸、ブラインド（直付け（休憩室のみ））全て新設	網戸、全て新設	全て新設	全て新設			
形状・寸法								
符号・名称・個数								
場所								
仕上（枠共）								
建具	見込（ランマ）							
	硝子（ランマ）							
	ガラリ							
建具枠	見込取合 番摺							
枠記号 番摺（水切）記号								
建具金物								
その他								
形状・寸法								

実 施

共通事項	1. 特記なき限り外部はシリンダ箱錠（内部サムターン）とし内部は本締り付きモノロックとする。 但し、押板、押棒の場合は、シリンダ本締り錠とする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはI型とする。 9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。	建具略号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸
	2. バイブスペース、ダクトスペースの点検扉の鍵はシリンダ本締り錠（特記なき限り同一キー）とする。（内部サムターン付）	10. 防火戸の位置は建具配置図による。 11. 特記なき限り気密扉・簡易気密扉の吸音材の充填は行わないものとする。		アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD		AS	aW	
	3. 便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。 4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め（防火戸を除く）をつける。 壁仕上げボード類等の場合は床付とする。（但し、通行に支障のあるものは除く。）	12. 階段室の施錠を必要としない箇所は空錠とする。 13. 特記なき限り両開きの防火戸は順位調整器付とする。		鋼 製	SD	SW	SG	SOD		SS		
	5. 特記なき限り外部に面するガラリは防鳥網付きとする。 6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1,500以内とする。 7. 大型、気密鋼製建具はシリンダ本締り錠付きとする。	14. 特記なき限り扉の取手はレバーハンドルとする。 15. AT-2、AT-4の補強材はアングル（L-50×50×6）の通し物とする。		鋼 製 軽 量	LD					LS		
				ステンレス製	SSD	SSW	SSG			SSS		
				木 製	WD	WW	WG		P	H		
				F 型板ガラス	金 物		D C	ドアクローザー				
				P フロート板ガラス			A H	オートヒンジ				
				N F 網入型板ガラス	略		F H	フロアヒンジ				
				N P 網入みがき板ガラス	号		P H	ビボットヒンジ				

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	建具表（2）		
縮 尺	1/50	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町	図番	A-049	

改修後										
符号・名称・個数		SS-1 鋼製軽量シャッター 1	SD-1 鋼製片開きフラッシュ戸 1	SD-2 鋼製両開きフラッシュ戸 1	SD-2A 鋼製両開きフラッシュ戸 1	SD-3 鋼製両開きフラッシュ戸 2	SD-4 鋼製両開きフラッシュ戸 1	SD-5 鋼製片開きフラッシュ戸 1		
場所		1F 薬注室	1F 管廊	1F ポンプ室	1F ポンプ室	1F 薬注室、プロアー室	1F 空気源室	1F 塩素減菌室		
仕上（枠共）		DP(FUE)塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	DP(FUE)塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）		
建具	見込（ランマ）	_____	40	40	40	40	40	40		
	硝子（ランマ）	_____	線入りガラス t=6.8	_____	_____	_____	_____	_____		
	ガラリ	_____	可動ガラリ	_____	_____	_____	_____	_____		
建具枠	見込取合 寄措	_____	80	80	80	80	80	80		
枠記号 寄措（水切）記号		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____		
建具金物		_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____		
その他		建具塗装の更新（シャッターボックス共）	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新		
形状・寸法										
符号・名称・個数		SG-1 鋼製ガラリ 1	SG-2 鋼製ガラリ 1		LD-1 鋼製軽量両開きフラッシュ戸 1		WD-1 木製両開きフラッシュ戸 1	WD-3 木製親子開きフラッシュ戸 2	WD-4 木製片開きフラッシュ戸 2	
場所		1F プロアー室	1F 薬注室		2F 薬品保管室		2F 薬品保管室	2F 薬品保管室、水質試験室	2F 管理室、ホール	
仕上（枠共）		DP(FUE)塗（新設）	DP(FUE)塗（新設）		DP(FUE)塗（新設）		SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	
建具	見込（ランマ）	_____	_____		40		40	40	40	
	硝子（ランマ）	_____	_____		_____		スリガラス t=3.0	スリガラス t=3.0	透明ガラス t=3.0	
	ガラリ	固定ガラリ	固定ガラリ		_____		_____	_____	_____	
建具枠	見込取合 寄措	45	45		80		80	80	80	
枠記号 寄措（水切）記号		_____	_____		_____		_____	_____	_____	
建具金物		付属金物一式 三方鋼製鎖線25×35 鋼製横板25×35	付属金物一式、アルミ水切板 三方鋼製鎖線25×35 鋼製横板25×35		_____		_____	_____	_____	
その他		建具塗装の更新	建具塗装の更新		建具塗装の更新		建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	
形状・寸法										
符号・名称・個数		WD-5 木製片開きフラッシュ戸 2	WD-6 木製片開きフラッシュ戸 1	WD-9 木製片開きフラッシュ戸 1	WD-10 木製両開きフラッシュ戸 2	WD-11 木製引き違い窓 1				
場所		2F 湯沸室、便所	2F 休憩室	1F 薬注室	2F 管理室、電気室	2F 休憩室				
仕上（枠共）		SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）	SOP塗（新設）				
建具	見込（ランマ）	40	40	40	40	40				
	硝子（ランマ）	スリガラス t=3.0	スリガラス t=3.0	_____	スリガラス t=3.0	スリガラス t=3.0				
	ガラリ	_____	_____	_____	_____	_____				
建具枠	見込取合 寄措	80	80	80	80	80				
枠記号 寄措（水切）記号		_____	_____	_____	_____	_____				
建具金物		_____	_____	_____	_____	_____				
その他		建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具塗装の更新	建具枠（四方W25）塗装の更新				
形状・寸法										
共通事項	実 施									
	工 事 名 令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事（建築）									
	施工地名 亶理町逢隈田沢字堰下206-6									
	図 面 名 建具表（3）									
	縮 尺		1/50		位置					
	設 計 者				設計年度					
	亶 理 町				図番		A-050			
建具略号	ガラリ略号	種 別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙降り	ふすま	シャッター	網戸
		アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW
		鋼 製	SD	SW	SG	SOD			SS	
		鋼 製 軽 量	LD						LS	
		ステンレス製	SSD	SSW	SSG				SSS	
ガラリ略号		木 製	WD	WW	WG		P	H		
		F 型板ガラス			金 物	DC ドアクローザー				
		P フロート板ガラス			略	AH オートヒンジ				
		NF 網入型板ガラス			略	FH フロアヒンジ				
ガラリ略号		NP 網入みがき板ガラス			号	PH ビボットヒンジ				



凡 例

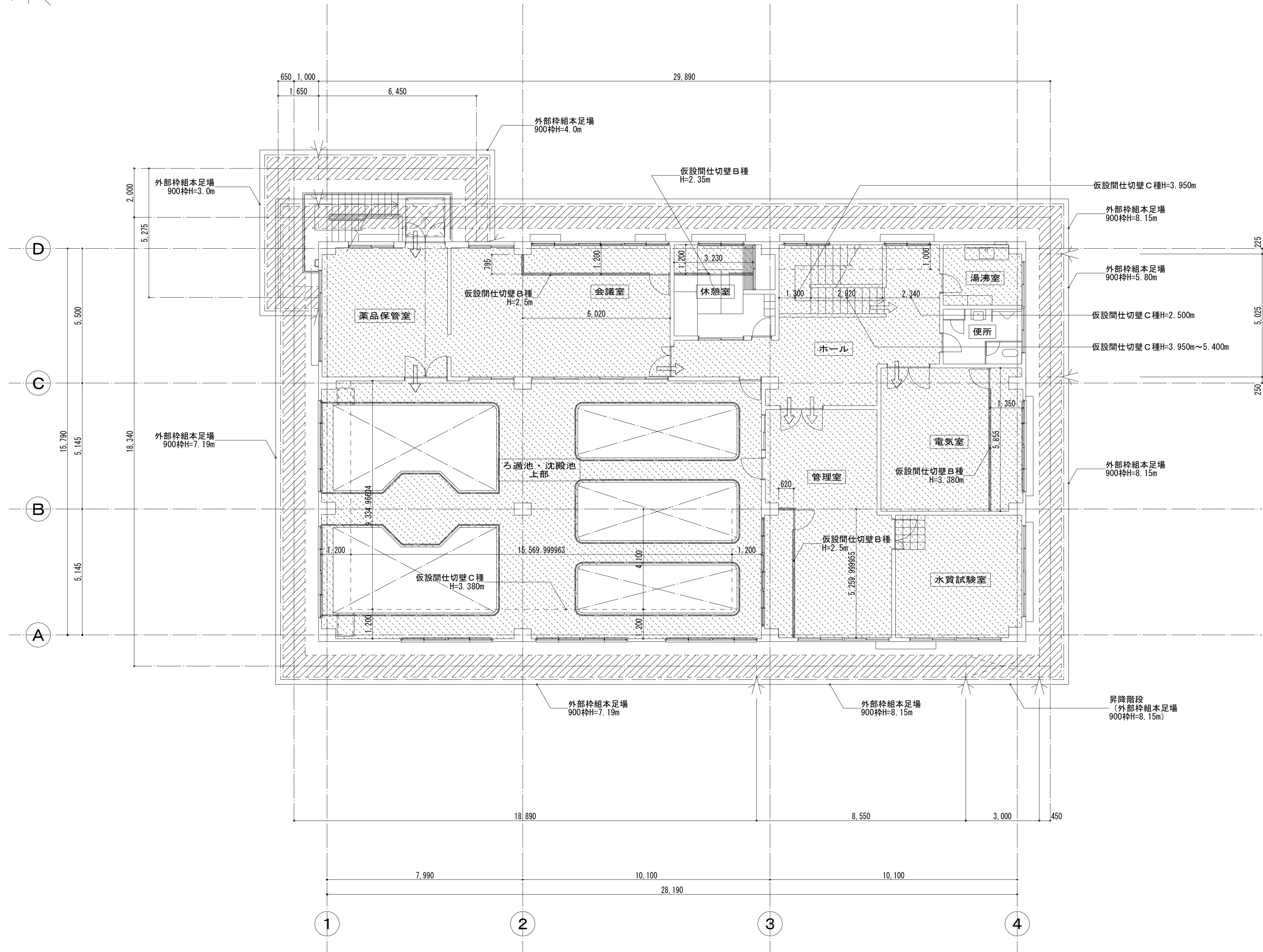
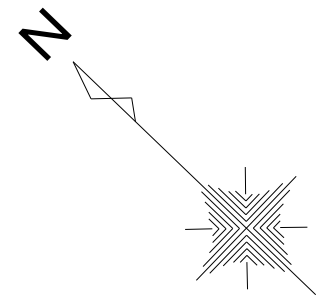
- 床養生シート敷
(内部工事範囲)
- 枠組本足場+防音シート張り
- 昇降階段+防音シート張り
- 仮設間仕切壁 B種(不燃)
(軽量鉄骨壁下地+片面石膏ボード)
- 仮設間仕切壁 C種
(単管下地+壁養生シート)
- 工事用動線
- 管理用動線

注 記

- ・仮設計画については、参考とする。
- ・仮設間仕切り・足場等は、現場にて監督員と調整のこと。
- ・仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目・床・天井部はテープ貼りとする。
- ・仮設間仕切り扉の下地は木製とし、仕上をフレキシブル板 $t=4$ (不燃) (常時閉鎖) とする。
- ・仮設間仕切り扉寸法は特記なき限り、 $W800$ 、 $H2100$ とする。
- ・仮設間仕切りの設備機器等は特記なき限り、シート養生とする。
- ・外壁仕上材の撤去による石綿粉じん飛散防止処理の仮設計画については、工事請負業者の仕様による。

実 施

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事 (建築)		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	仮設計画図 (参考) (1)		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町		図番	A-051



凡 例

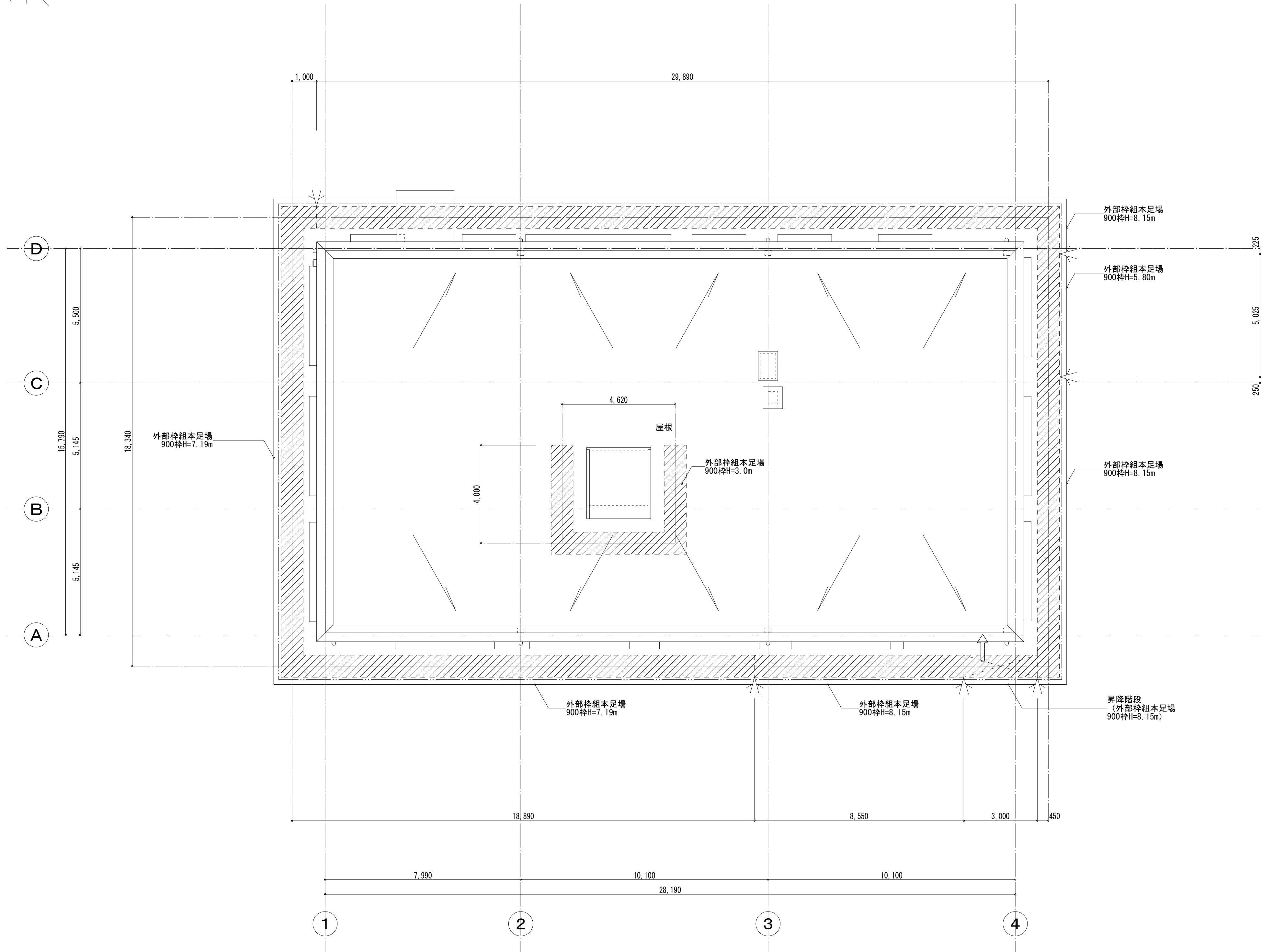
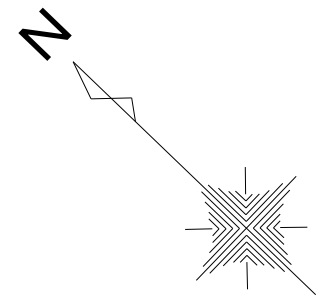
- 床養生シート敷 (内部工事範囲)
- 枠組本足場+防音シート張り
- 昇降階段+防音シート張り
- 仮設間仕切壁 B種 (不燃) (軽量鉄骨壁下地+片面石膏ボード)
- 仮設間仕切壁 C種 (単管下地+壁養生シート)
- 工事用動線
- 管理用動線

注 記

- ・仮設計画については、参考とする。
- ・仮設間仕切り・足場等は、現場にて監督員と調整のこと。
- ・仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目・床・天井部はテープ貼りとする。
- ・仮設間仕切り扉の下地は木製とし、仕上をフレキシブル板 $t=4$ (不燃) (常時閉鎖) とする。
- ・仮設間仕切り扉寸法は特記なき限り、 $W800$ 、 $H2100$ とする。
- ・仮設間仕切りの設備機器等は特記なき限り、シート養生とする。
- ・外壁仕上材の撤去による石綿粉じん飛散防止処理の仮設計画については、工事請負業者の仕様による。

実 施

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事 (建築)		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	仮設計画図 (参考) (2)		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町		図番	A-052



凡 例

- 床養生シート敷 (内部工事範囲)
- 枠組本足場+防音シート張り
- 昇降階段+防音シート張り
- 仮設間仕切壁 B種 (不燃) (軽量鉄骨壁下地+片面石膏ボード)
- 仮設間仕切壁 C種 (単管下地+壁養生シート)
- 工事用動線
- 管理用動線

注 記

- 仮設計画については、参考とする。
- 仮設間仕切り・足場等は、現場にて監督員と調整のこと。
- 仮設間仕切りは気密性を確保するため、継目・床・天井部はテープ貼りとする。
- 仮設間仕切り扉の下地は木製とし、仕上をフレキシブル板 $t=4$ (不燃) (常時閉鎖) とする。
- 仮設間仕切り扉の扉は、特記なき限り、防火処理の仮設計画に準拠する。
- 仮設間仕切りの設備機器等は特記なき限り、シート養生とする。

実 施

工 事 名	令和6年度 生活基盤施設耐震化等交付金 田沢浄水場耐震補強工事 (建築)		
施工地名	亶理町逢隈田沢字堰下206-6		
図 面 名	仮設計画図 (参考) (3)		
縮 尺	1/100	位置	
設 計 者		設計 年度	
亶 理 町	図番	A-053	